

本 時 の 指 導

| 本 時 の 指 導 | | | | | | |
|--------------|---|--|----------------------------|--|---|--|
| ねらい | 地球の位置と方角を理解し、太陽の日周運動から地球の自転を考察する。 班や学級での話し合いで自分の発見を自分の言葉で工夫して発表しようとする。 | | | | | |
| 学習過程 | 時間 | 学 習 活 動 | 形態 | 教師の支援と指導 | | 指導上の工夫 () 評価 () |
| | | | | T 1 | T 2 | |
| 1. 前時の学習活動確認 | 5 | 太陽の動きを記入させる。 太陽観測から、わかったことをまとめ、発表する。 ・太陽は東からのぼり、南の空を 通って、西に沈む。 ・真東から太陽は昇らない。 ・だいたい同じ速さで動く。 | 小集団 個人 小集団 一斉 | T 1 > T 2 全体に対して支援 | T 2 小集団を支援 | わかったことを小黒板に記入させて掲示する。 |
| 2. 課題の把握 | 1 | 本時の課題を把握する。 太陽が東からのぼり、南の空を 通って、西に沈む現象をモデルで考えよう。 | 一斉 | 課題の説明 T 1 > T 2 | | 本時の課題を理解しているか。 |
| 3. 方位と時間の確認 | 14 | モデルの説明をする。 地図上の方位確認をして、地球上の方位の確認する。 ワークシートの問題を個別実験をしながら考える。 地図の方位 地球上の方位 理解した生徒が教師役となり教え合う。 | 一斉 個人 小集団 | T 1 > T 2 T 1 = T 2 主に4班、7～9班を支援 Aさんを支援 | T 2 主に1～3班5、6班を支援 Bさんを支援 | 地球儀も使用して説明する。 個別実験を意欲的にできたか。 (関心・意欲) 班員全員が理解した班は、前の黒板に記入 全員終了した班は、 応用問題をやる。 |
| 4. 考 察 | 20 | 何がどのように動いていたら東から太陽が昇り南の空を 通って西に沈むか？ 個人で考える。 班で話し合う。 (司会、発表) 地球の自転や回転の方向について全体で話し合う。 教師がビデオを使って自転による太陽の動きを確認してまとめる。 | 個人 小集団 一斉 | T 1 > T 2 主に全体に対して支援 天動説の考えを大切にす | T 2 小集団を支援 主に9班天動説モデルを支援する。 自転の回転方向を記入 | 考察の援助となる資料を、OHPで提示する。 自分の言葉で表現を工夫して説明できるか。 (技能・表現) 話しやすい形態にし、できるだけ考えを発表させる。 |
| 5. まとめ | 7 | 地球の自転の証拠をビデオで紹介する。 | 一斉 | T 1 < T 2 | | |
| | 3 | 次時の活動について知らせる活動の意欲を高める。 自己評価をまとめる。 | | T 1 > T 2 | | 授業後、TTによる生徒、授業の評価をする。 |
| 研究の視点 | 時間と空間を認識させる指導方法は適切であったか。 生徒の活動に対するTTの援助は適切であったか。 | | | | | |